株式のお手続きに関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増制度について

1単元(100株)に満たない**単元未満株式の「買取制度」「買増制度」(※1)につきましては、ご利用いただく際の当社への手数料が無料となっております**ので、ご利用をご検討いただきますようご案内申しあげます。なお、ご利用の口座により、お手続きの窓口が異なります。下記〈株式に関するお手続きの窓口〉をご確認ください。
なお、証券会社等の口座をご利用の場合は、お手続きいただく際に、証券保管振替機構を通じた当社への単元未満株式買取・買増制度をご利用の旨お申し出ください。また、その際若干のお取次料がかかる場合がございますのでご了承ください。

(※1)単元未満株式の買取・買増制度(例:株主様が75株をご所有の場合)

特別口座から証券会社等の口座への振替について

特別口座で管理される株式は、単元未満株式の買取り等を除き、特別口座のままでは売却できませんので、ご本人の証券会社等の口座に振替されることをお勧めします。なお、ご所有の当社株式につき、証券会社等の口座と特別口座の両方でご所有の方は、管理の一元化のため、特別口座の株式を証券会社等の口座へ振替することが可能です。
上記お手続きの詳細は、みずほ信託銀行(株)にお問合せください。

特別口座
株券電子化に際して、証券会社等を通じて証券保管振替機構(ほふり)にお預け入れがお済みでない当社の株式につきましては、株主様の権利を保全するため、当社がみずほ信託銀行(株)に開設した「特別口座」にご名義、ご登録住所等の情報を記録しております。

〈株式に関するお手続きの窓口〉

(1)特別口座に記録されている株式

郵便物(お手続き書類)送付先	〒168-8507　東京都杉並区和泉二丁目8番4号　みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
電話お問合せ先	フリーダイヤル　☎0120-288-324
取扱業務	・特別口座から自己名義振替口座(証券会社等の取引口座)への振替　・住所、氏名・名称・代表者等変更 ・相続　・届出印変更　・配当金振込指定(株式比例配分方式除く)　・支払明細書発行 ・株式異動状況等証明書発行　・単元未満株式の買取・買増　・未払配当金の支払(※2)
取扱店(特別口座管理機関取次所)	・みずほ信託銀行株式会社　全国各支店　・みずほインベスターズ証券株式会社　本店および全国各支店

(※2)未払配当金の支払のうち、配当金領収証でのお受取りにつきましては、上記取扱店に加え、(株)みずほ銀行の各本支店でもお受付けいたします。

(2)証券会社等の振替口座をご利用の株式

郵便物(お手続き書類)送付先 電話お問合せ先	お取引の証券会社になります。
取扱業務	未払配当金の支払・支払明細書発行以外の業務(※3)

(※3)未払配当金の支払、支払明細書発行につきましては、上記(1)特別口座に記録されている株式と同じ窓口をご利用ください。

JFE ホールディングス 株式会社
〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
当社ホームページアドレス
http://www.jfe-holdings.co.jp/

株 主 の 皆 様 へ

第9期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

JFE Group

JFE

JFEグループは、常に世界最高の技術をもって社会に貢献します。

JFE ホールディングス 株式会社

平成22年度の決算を経て 今後のJFEグループの 事業戦略やビジョンについて、 馬田代表取締役社長がお答えします。

代表取締役社長(CEO)
馬田 一

この度の東日本大震災で被災された皆様に、
心よりお見舞い申しあげますとともに、
被災地の一日も早い復興を祈念いたします。

Q JFEグループでの震災の影響、またその後の復興に向けた取り組みについて教えてください。

東北地方のグループ会社で大きな被害
東日本製鉄所では震災翌週に通常操業体制へ復旧
基幹産業として復興の使命を担う

A 震災によって、東北地方のグループ会社が大きな被害を受けました。東日本製鉄所でも一時操業に影響が生じましたが、震災翌週には、全ての設備で通常操業に問題がない状態に復旧しました。多くの皆様からお見舞いや励ましのお言葉をいただき、非常に有難く心強く思っています。

被災地の復興においては、基幹産業としての使命を果たしていきたいと考えています。

仮設住宅の建設をはじめ、ライフラインの復旧など被災地の復興には多くの鋼材が必要とされています。JFEスチールグループでは、これらの資材を最優先にお届けするなど、迅速な協力・支援を行っています。

また、震災直後から、ガスや水道等のライフライン、ごみ焼却設備や下水処理設備などの復旧につき、数多くの行政機関やガス会社から、被害状況調査および支援の要請を受けました。これに対し、JFEエンジニアリンググループでは、多数の技術者をすみやかに現地に派遣し、復旧工事を進め早期の運転再開に協力しています。

さらに、震災後に生じた電力不足に際しては、節電への協力はもちろんのこと、製鉄所の自家発電設備をフル稼働させ、電力供給に貢献しました。これから夏の電力不足時にも、同様のご協力ができる体制をとっています。

Q 震災の影響もある中で、今期の業績についてはいかがでしたか。

鉄鋼事業の収益回復により、経常利益は
1,658億円と前期に比べ大幅な増益
震災に伴う災害損失を計上するも
当期純利益は586億円と前期に比べ増益

A 平成22年度の経済環境は、前半は輸出主導で回復傾向にあったものの、後半は足踏み状態が続くという状況でした。その中で、収益改善の継続的な取り組みに加え、国内外の営業拠点拡充による販売体制の強化やアライアンスの推進、製造体制の強化や新商品開発の推進といった収益の向上に取り組みました。

鉄鋼事業では、販売数量の増加と販売価格の上昇により売上高は増加し、原料価格の大幅な上昇を余儀なくされましたが、経常利益は1,342億円となり、前期に比べ増益となりました。

エンジニアリング事業では、低調な民間設備投資と公共事業の削減が続く中、売上高は前期に比べ減収となりましたが、全社をあげて原価削減を中心とした収益改善に取り組み、経常利益は122億円を確保しました。

造船事業では、前年の工事進行基準適用範囲拡大の影響を受けて売上高は前期に比べ減収となりましたが、全社をあげた収益改善活動が成果をあげ、経常利益は171億円となりました。

LSI事業では16億円の経常利益となりました。また、当初の事業目的を達成し4月にJFEスチールが吸収合併しました都市開発事業では、7億円の経常損失となりました。

以上の結果、グループ全体の経常利益は1,658億円と前期に比べ大幅な増益となりました。震災に伴う災害損失等の特別損失を計上しましたが、当期純利益は586億円と、前期に比べ増益となりました。

Q 今後の成長のための海外戦略については、どのように考えていますか。

これからの成長エンジンはアジア
技術開発の加速で高付加価値商品を拡販
コスト競争力の強化で汎用的な商品需要を捕捉

A 経済停滞が長引き今後の成長に多くが期待できない先進国に対して、アジアを中心とする新興国は、人口増加や経済発展によりこれからも世界経済を牽引し、鉄鋼や社会・産業インフラの需要も増大すると見込まれます。

JFEグループが成長していくためには、アジアに成長のエンジンを求め、拡大する需要を捕捉することが不可欠と考えます。そのために、技術開発を今まで以上に加速し、JFEグループが得意とする高付加価値商品を拡販することに加え、大きなマーケットである汎用的な技術・商品に対する需要も取り込めるよう、コスト競争力も高めていかなくてはなりません。

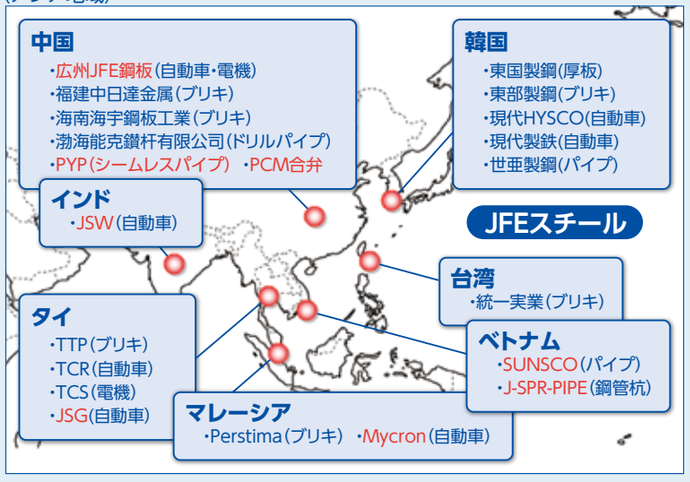
鉄鋼事業においては、高級鋼を中心とした輸出の拡大をはかりつつ、アライアンスによる垂直分業の現地生産を積極的に進めています。昨年、中国やベトナム、マレーシア等で現地企業に対する出資や買収を行いました。今年2月にはタイで自動車用鍍金鋼板の工場建設にも着手しました。

エンジニアリング事業においては、環境・エネルギー・水分野を中心とし、中国、東南アジア、ヨーロッパへの営業活動を着実に展開していきます。

また、グループ全体として、海外拠点の新規開設や国際化に対応した人材の育成・活用などグローバル戦略推進のための体制整備を進めていきたいと考えています。

図 海外鉄鋼会社との協力関係(販売先)

(アジア地域)



Q 省エネルギーや環境への取り組みについてはどのように考えていますか?

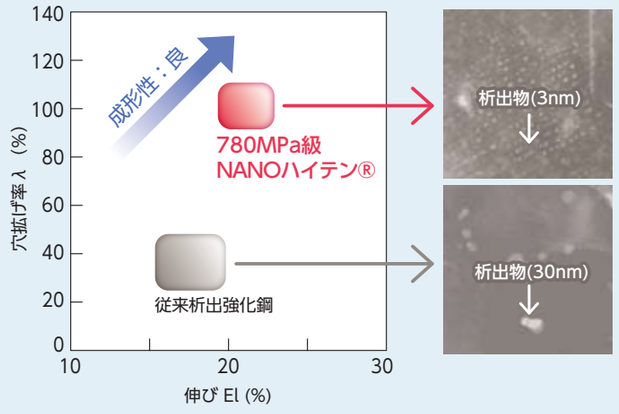
製造プロセスでも製品でも省エネ・環境負荷低減に貢献

A JFEグループは、環境技術や省エネ・省資源技術の開発に注力しており、その技術力は世界最高水準にあると自負していますが、今後も世界最先端の技術開発に果敢に挑戦していきます。一例ですが、他の鉄鋼メーカーと共同で、製鉄所のCO_2排出量を約30%削減する革新的な技術開発に取り組んでおり、その一環として今年2月にCO_2を分離・回収するベンチプラントを西日本製鉄所で稼動させました。

環境負荷の低減や省エネルギーに対するお客様からのニーズは、従来にも増して強まっており、このような機能や要望を満たす商品・サービスを生み出し続けています。

例えば、今年大河内記念賞を受賞したJFEスチールの「NANOハイテン®」は、鉄鋼材料の組織設計を工夫することで高強度と高い加工性を両立した鋼板です。従来製品より使用時の厚みを薄くできることから、自動車の軽量化を可能にし、燃費の向上など省エネに貢献しています。JFEエンジニアリングは国内18箇所の地熱発電所の半数で施工にかかわるとともに、太陽光や太陽熱発電事業にも進出しています。また、ユニバーサル造船ではCO_2排出のないゼロエミッション船の実現を目指し研究開発を進めています。

図 NANOハイテン®の特性



Q 最後に、株主の皆様へ一言

A 当社は、株主還元を経営の最重要課題ととらえております。配当性向25%を基本とし、成長に向けた投資と財務体質の維持改善をはかりつつ、積極的に配当を実施してまいります。

私たちJFEグループは、多くのステークホルダーの皆様との関わりの中で企業活動を展開しています。今後も、皆様のご協力をいただきながら持続的な成長を図ってまいりますので、当社グループに対し一層のご理解をいただくとともに、ご指導ご支援賜りますようお願い申しあげます。

当期の業績をご報告します

Financial Summary

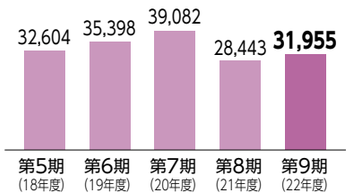
当期のポイント

1. 売上高は3兆1,955億円、前期比12.3%増。
2. 経常利益は前期に比べ大幅な増益。
   震災に伴う特別損失を計上するも、当期純利益は前期に比べ増益。
3. 当期の配当は中間配当とあわせ1株当たり35円。

連結財務ハイライト

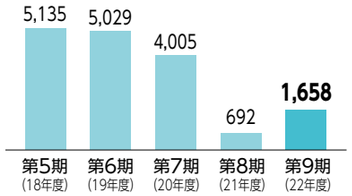
売上高

(単位:億円)



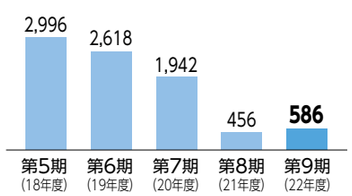
経常利益

(単位:億円)



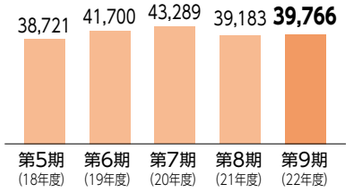
当期純利益

(単位:億円)



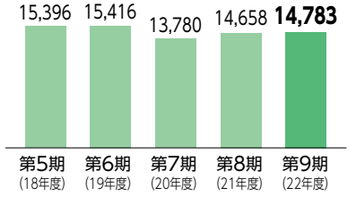
総資産

(単位:億円)



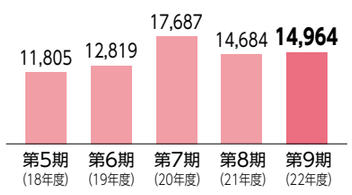
純資産

(単位:億円)



借入金・社債等残高

(単位:億円)



財務指標

ROS※1	ROA※2	自己資本比率	D/Eレシオ(格付けベース)※3
5.2%	4.6%	36.2%	76.5%

※1 ROS=経常利益／売上高　※2 ROA=(経常利益+支払利息)／総資産　※3 D/Eレシオ=借入金・社債等残高／自己資本、格付けベース:格付評価上資本性を併せ持つハイブリッド債(平成20年3月発行 第1回取得条項付無担保転換社債型新株予約権付社債(劣後特約付)発行価額3,000億円)について、格付機関による評価により、75%を資本とみなした場合

JFEグループの業績

JFE GROUP Companies

(平成23年3月31日現在)

鉄鋼事業

粗鋼生産量　3,147万t
売上高　2兆7,474億円
経常利益　1,342億円

JFEスチール株式会社
代　表　者　代表取締役社長 林田 英治
従 業 員 数　42,923名*連結
事 業 内 容　各種鉄鋼製品、鋼材加工製品、原材料等の製造・販売、ならびに運輸業および設備保全・工事等の周辺事業
生 産 拠 点　東日本製鉄所(千葉地区・京浜地区)
西日本製鉄所(倉敷地区・福山地区)
知多製造所

エンジニアリング事業

売上高　2,651億円
経常利益　122億円

JFEエンジニアリング株式会社
代　表　者　代表取締役社長 岸本 純幸
従 業 員 数　7,334名*連結
事 業 内 容　エネルギー、都市環境、リサイクル、鋼構造、産業機械等に関するエンジニアリング事業
生 産 拠 点　鶴見製作所／津製作所／清水製作所

造船事業

売上高　2,108億円
経常利益　171億円

ユニバーサル造船株式会社
代　表　者　代表取締役社長 三島 慎次郎
従 業 員 数　3,659名*連結
事 業 内 容　一般商船および艦船等の設計・製造・販売・修繕
生 産 拠 点　京浜事業所／津事業所／舞鶴事業所／因島事業所／有明事業所

都市開発事業

売上高　133億円
経常利益　▲7億円

JFE都市開発株式会社
代　表　者　代表取締役社長 重見 憲明
従 業 員 数　15名*連結
事 業 内 容　大規模複合開発、マンション分譲、不動産ソリューション、資産活用等

LSI事業

売上高　241億円
経常利益　16億円

川崎マイクロエレクトロニクス株式会社
代　表　者　代表取締役社長 山内 由紀夫
従 業 員 数　423名*連結
事 業 内 容　各種LSI製品の製造・販売等

※JFE都市開発株式会社は、平成23年4月1日にアフターサービス事業を会社分割によりJFEライフ株式会社に移管のうえ、同日JFEスチール株式会社と合併しております。

平成23年度 工場見学会のご案内（募集要項）

株主の皆様に当社へのご理解を一層深めていただけるよう、
引き続き工場見学会ならびに会社概況説明会を開催いたしますので、ご案内申しあげます。

募集方法が変わります。年2回から年1回の募集へ。

従来年2回、「株主の皆様へ」紙面上で見学会の募集をいたしておりましたが、
今回、本年度に開催予定のすべての日程（開催期間:平成23年10月～平成24年3月）につき、まとめて募集いたします。
11月末発送予定の「株主の皆様へ」での募集予定はございませんので、
本年度の見学会へ参加をご希望の方は、必ず今回お申込みくださいますようお願い申しあげます。

対象者
平成23年3月31日現在、当社株式100株以上をご所有の株主様（同伴者1名まで可）
※お子様の同伴は小学生以上とさせていただきます。

募集人数
JFEスチール（株）
東日本製鉄所（千葉地区）：各回135名様
（京浜地区）：各回135名様
西日本製鉄所（倉敷地区）：各回 90名様
（福山地区）：各回 90名様

JFEエンジニアリング（株）
リサイクル工場（京浜地区）：各回 60名様

JFEエンジニアリング（株）・ユニバーサル造船（株）
（津地区）：各回 60名様

※人数には同伴者を含みます。

締切日
平成23年7月19日（火）
（当日消印有効）

応募方法
同封のはがきをご返送いただくか、
当社ホームページ
（アドレスhttp://www.jfe-holdings.co.jp/）
からご応募ください。

参加費
無料
（但し、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。）

お問合せ先（工場見学会専用）
JFEホールディングス（株） 株主名簿管理人
みずほ信託銀行（株） 証券代行部
0120-300-676［9:00～17:00（土・日、祝祭日を除く）］

※お申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選結果につきましては、別途ご連絡（平成23年9月上旬頃）させていただきます。予めご承知おきくださいますようお願い申しあげます。
※お申込みの際に、記載事項にもれ等の不備がございます場合、無効とさせていただくことがございますのでご承知おきください。

工場見学会の概要

◎JFEスチール（株）東日本製鉄所

実施日時

（千葉地区）
申込番号① 平成23年11月15日（火） 9:00頃～12:00頃
申込番号② 平成23年11月15日（火） 13:30頃～16:30頃
申込番号③ 平成23年11月17日（木） 9:00頃～12:00頃
申込番号④ 平成23年11月17日（木） 13:30頃～16:30頃

（京浜地区）
申込番号⑤ 平成23年10月 7日（金） 9:00頃～12:00頃
申込番号⑥ 平成23年10月 7日（金） 13:30頃～16:30頃
申込番号⑦ 平成23年10月12日（水） 9:00頃～12:00頃
申込番号⑧ 平成23年10月12日（水） 13:30頃～16:30頃

集合場所・解散場所
〈千葉地区〉JR千葉駅周辺
〈京浜地区〉JR川崎駅周辺

◎JFEエンジニアリング（株） リサイクル工場

実施日時

（京浜地区）
申込番号⑨ 平成23年11月10日（木） 9:00頃～12:00頃
申込番号⑩ 平成23年11月10日（木） 13:30頃～16:30頃

集合場所・解散場所
JR川崎駅周辺

見学にお越しいただくことが確定した株主様へは、別途詳細をご案内申しあげますが、
天候等の事由により、見学会の延期・中止、またはご見学内容の変更等が生じる場合がございますので、
あらかじめご了承賜りますようお願い申しあげます。

◎JFEスチール（株）西日本製鉄所

実施日時

（倉敷地区）
申込番号⑪ 平成24年 1月18日（水） 8:30頃～12:30頃
申込番号⑫ 平成24年 1月18日（水） 13:30頃～17:30頃
申込番号⑬ 平成24年 2月16日（木） 8:30頃～12:30頃
申込番号⑭ 平成24年 2月16日（木） 13:30頃～17:30頃

（福山地区）
申込番号⑮ 平成24年 1月19日（木） 9:00頃～12:00頃
申込番号⑯ 平成24年 1月19日（木） 13:30頃～16:30頃
申込番号⑰ 平成24年 2月15日（水） 9:00頃～12:00頃
申込番号⑱ 平成24年 2月15日（水） 13:30頃～16:30頃

集合場所・解散場所
（倉敷地区）JR新倉敷駅北口 または 西日本製鉄所倉敷地区（駐車場あり）
（福山地区）JR福山駅北口 または 西日本製鉄所福山地区（駐車場あり）

◎JFEエンジニアリング（株）・ユニバーサル造船（株）

実施日時

（津地区）
申込番号⑲ 平成23年12月15日（木） 10:30頃～15:00頃
申込番号⑳ 平成23年12月15日（木） 12:00頃～16:30頃
申込番号㉑ 平成23年12月16日（金） 10:30頃～15:00頃
申込番号㉒ 平成23年12月16日（金） 12:00頃～16:30頃
申込番号㉓ 平成24年 3月 8日（木） 10:30頃～15:00頃
申込番号㉔ 平成24年 3月 8日（木） 12:00頃～16:30頃
申込番号㉕ 平成24年 3月 9日（金） 10:30頃～15:00頃
申込番号㉖ 平成24年 3月 9日（金） 12:00頃～16:30頃

集合場所・解散場所
近鉄久居駅東口

※ご応募により当社が取得する個人情報は、本工場見学会を実施する上で必要な限りにおいて使用いたします。

JFEスチール

高級鋼材に不可欠なレアメタル・ニオブ生産企業に共同出資

JFEスチール株式会社、新日本製鐵株式会社、韓国POSCO社等の日韓連合は、高級鋼材の生産に不可欠なレアメタル(希少金属)の一種であるニオブの鉱山企業であるブラジルCBMM社の株式の15%を取得しました。新興国を中心に高級鋼材の需要が伸びる中、ニオブの世界生産量のトップシェアを占めるCBMM社に出資することで、ニオブの安定調達体制を整えます。

CBMM社ニオブ鉱山の所在地、および、同鉱山の全景

JFEスチール

西日本製鉄所(福山地区)第3高炉の改修を完了し、火入れ

JFEスチール株式会社は、西日本製鉄所(福山地区)第3高炉の改修工事を完了し、平成23年5月14日に火入れを行いました。また、改修による第3高炉大型化に伴い、福山地区第2高炉を休止し、より効率的な生産体制を実現いたしました。

これまで国内外での高級鋼需要の増加に対応するため、全社粗鋼生産能力の向上につとめてまいりましたが、今回の火入れに伴い、福山地区における粗鋼生産能力は年間1,300万トンとなり、西日本製鉄所粗鋼生産能力2,300万トン、全社粗鋼生産能力3,300万トン体制が確立いたします。

今後も鉄鋼需要の動向を注視し、柔軟かつ迅速に需要に見合った生産体制の構築に努めてまいります。

ユニバーサル造船

PSV(Platform Supply Vessel)の連続建造開始

ユニバーサル造船株式会社舞鶴事業所では、海洋油田開発に使われる掘削リグや生産プラットフォーム(海洋構造物)への効率的な物資輸送に特化した特殊船、4,700トン型(全長88m)PSVの連続建造が始まっています。京浜事業所でも、掘削リグを牽引する巨大なウィンチが特徴のアンカーハンドラーを多数建造しています。いずれも主要なオフショア支援船で、これらを建造できるのは国内では同社だけです。

原油の需要が増加し続ける中、PSVは全世界の海洋油田開発地域で活躍します。本船の開発には、過去の建造経験から得た知識を活用し、プロジェクトチームを立ち上げて開発をやり遂げ、受注に成功しました。

本船は、旋回式推進装置と船首スラスタを備え、リグやプラットフォームの傍らで位置保持しながら安全に荷役を行うことができ、また環境に配慮し、燃料タンクの完全保護構造や排気ガス規制に対応した機関等を採用しています。1番船は8月に完工の予定です。

完成予想CG図

JFEエンジニアリング

都市環境プラントの「ハイパーZシリーズ」

JFEエンジニアリング株式会社は、都市廃棄物の持つエネルギーから効率的に発電を行う標準プラント『ハイパーZシリーズ』を発売しました。

『ハイパーZシリーズ』には、高温空気吹き込み技術や排ガス再循環技術など、最高水準の技術を適用しており、業界No.1の発電効率を実現しています。

環境面では、燃焼効率の飛躍的な向上により、従来の焼却炉に比べ、ダイオキシンや窒素酸化物の排出を40%以上低減し、CO_2排出量を約20%削減しました。

さらに、『ハイパーZシリーズ』は、プラント設計の最適化と標準化により、15%以上の建設コスト削減を可能とし、また運転段階でのコストダウンも図っているため、経済性にも優れています。

こうした提案は、お客様にも高い技術評価を受け、昨年12月の練馬清掃工場(東京都)の設計・施工一括受注に繋がっております。

JFEエンジニアリング

海外の環境インフラ分野での展開
～月島機械株式会社との業務提携～

左:月島機械(株)大石専務
右:JFEエンジニアリング(株)加藤専務

JFEエンジニアリング株式会社は、月島機械株式会社と業務提携に関する基本合意書を締結しました。提携の内容は海外における環境インフラ分野での共同展開で、商品・技術・人材を持ち寄ることによって事業の拡大を図るものです。

両社は、中国や東南アジア諸国における上下水道設備等のインフラニーズに応え、環境・エネルギー技術を共同でお客様に提供していきます。

JFEスチール

タイにおける自動車用溶融亜鉛鍍金ライン建設に着手

JFEスチール株式会社は、タイ初の自動車用溶融亜鉛鍍金ライン(CGL、年産40万トン、平成25年4月稼動予定)をタイ南東部ラヨン県に建設することを決定し、着工いたしました。

タイは、多くの自動車会社が生産・輸出拠点を構える東南アジア最大の自動車生産国であることに加え、今後も自動車会社の生産能力の増強、工場新設が相次いで計画されていることから、自動車用高級鋼板需要の更なる拡大が見込まれます。

本事業を通じ、タイにおいて生産を拡大する自動車会社の現地調達要請にお応えするとともに、より一層高度化するお客様のニーズにお応えしてまいります。

財務諸表(連結)の概要

連結貸借対照表(単位:百万円)

主な科目	前連結会計年度(平成22年3月31日)	当連結会計年度(平成23年3月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	31,334	**49,591**
受取手形及び売掛金	497,500	**547,922**
商品及び製品	233,485	**254,612**
仕掛品	64,695	**52,589**
原材料及び貯蔵品	326,276	**359,321**
繰延税金資産	61,065	**43,996**
その他	117,429	**93,757**
貸倒引当金	△894	**△398**
流動資産合計	1,330,893	**1,401,391**
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	435,137	**424,751**
機械装置及び運搬具(純額)	703,299	**667,200**
土地	528,056	**520,408**
建設仮勘定	100,848	**71,499**
その他(純額)	32,828	**28,458**
有形固定資産合計	1,800,170	**1,712,318**
無形固定資産	69,830	**62,549**
投資その他の資産		
投資有価証券	565,053	**654,797**
繰延税金資産	50,034	**64,064**
その他	106,873	**86,172**
貸倒引当金	△5,964	**△5,647**
投資その他の資産合計	715,996	**799,387**
固定資産合計	2,585,997	**2,574,255**
繰延資産		
社債発行費	1,426	**997**
繰延資産合計	1,426	**997**
資産合計	3,918,317	**3,976,644**

主な科目	前連結会計年度(平成22年3月31日)	当連結会計年度(平成23年3月31日)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	344,336	**353,865**
短期借入金	133,802	**229,652**
コマーシャル・ペーパー	13,997	**27,994**
1年内償還予定の社債	70,000	**60,000**
その他	368,870	**368,163**
流動負債合計	931,006	**1,039,675**
固定負債		
社債	269,996	**289,997**
新株予約権付社債	300,000	**300,000**
長期借入金	680,677	**588,768**
繰延税金負債	8,155	**8,743**
再評価に係る繰延税金負債	12,397	**12,355**
退職給付引当金	135,086	**127,605**
特別修繕引当金	34,134	**35,420**
特定事業損失引当金	39,519	**35,572**
その他	41,444	**60,194**
固定負債合計	1,521,411	**1,458,658**
負債合計	2,452,418	**2,498,334**
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	147,143	**147,143**
資本剰余金	657,258	**651,964**
利益剰余金	1,039,399	**1,081,697**
自己株式	△426,602	**△415,890**
株主資本合計	1,417,198	**1,464,913**
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,392	**7,878**
繰延ヘッジ損益	△52	**29**
土地再評価差額金	12,004	**12,097**
為替換算調整勘定	△40,292	**△47,324**
その他の包括利益累計額合計	5,051	**△27,318**
少数株主持分	43,648	**40,715**
純資産合計	1,465,898	**1,478,310**
負債純資産合計	3,918,317	**3,976,644**

売上高 point 1

鉄鋼事業で輸出を中心とした数量増、販売価格の上昇により4,660億円の増収、その他の事業では減収となったものの、連結売上高は3,512億円の増収となりました。

連結損益計算書(単位:百万円)

主な科目	前連結会計年度(平成21年4月1日～平成22年3月31日)	当連結会計年度(平成22年4月1日～平成23年3月31日)
売上高	2,844,356	**3,195,560** point 1
売上原価	2,505,746	**2,765,721**
売上総利益	338,610	**429,838**
販売費及び一般管理費	249,835	**247,028**
営業利益	88,775	**182,810**
営業外収益	40,069	**46,869**
営業外費用	59,555	**63,874**
経常利益	69,289	**165,805** point 2
特別利益	8,559	**3,755**
特別損失	6,895	**54,293**
税金等調整前当期純利益	70,952	**115,267**
法人税等合計	21,419	**53,410**
少数株主損益調整前当期純利益	—	**61,856**
少数株主利益	3,873	**3,247**
当期純利益	45,659	**58,608** point 3

連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

主な科目	前連結会計年度(平成21年4月1日～平成22年3月31日)	当連結会計年度(平成22年4月1日～平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	389,548	**302,603**
投資活動によるキャッシュ・フロー	△236,725	**△302,282**
財務活動によるキャッシュ・フロー	△321,617	**23,073**
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,436	**△7,024**
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△174,231	**16,369**
現金及び現金同等物の期首残高	206,605	**32,342**
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△32	**332**
現金及び現金同等物の期末残高	32,342	**49,043**

経常利益 point 2

鉄鋼事業で1,019億円の大幅増益。エンジニアリング事業・造船事業は減益となるも、昨年に続き高水準を確保。連結経常利益は966億円の大幅な増益を達成しました。

当期純利益・配当 point 3

当期純利益は130億円の増益、当期の配当は、中間配当20円とあわせ1株当たり35円となりました。

連結株主資本等変動計算書(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成22年3月31日残高	147,143	657,258	1,039,399	△426,602	1,417,198	5,051	43,648	1,465,898
期中の変動額								
剰余金の配当			△21,165		△21,165			△21,165
当期純利益			58,608		58,608			58,608
自己株式の取得				△797	△797			△797
自己株式の処分		△5,294		11,509	6,215			6,215
連結範囲変更による増加			5,345		5,345			5,345
連結範囲変更による減少			△398		△398			△398
土地再評価差額金の取崩			△92		△92			△92
株主資本以外の項目の期中の変動額(純額)						△32,370	△2,933	△35,303
期中の変動額合計	—	△5,294	42,297	10,712	47,715	△32,370	△2,933	12,411
平成23年3月31日残高	147,143	651,964	1,081,697	△415,890	1,464,913	△27,318	40,715	1,478,310

会社概要

会社概要（平成23年6月22日現在）

名称（商号）

JFE（ジェイ エフ イー）ホールディングス株式会社
［英文名称：JFE Holdings,Inc.］

本店所在地

〒100-0011　東京都千代田区内幸町二丁目2番3号
電話 03（3597）4321（代表）

設　立

平成14年9月27日

資本金（平成23年3月31日現在）

1,471億円

主要な事業内容

鉄鋼事業、エンジニアリング事業、造船事業を
はじめとする事業会社の株式を所有することによる
当該会社の支配・管理

従業員数（平成23年3月31日現在）

46名

上場証券取引所

株式会社東京証券取引所
株式会社大阪証券取引所
株式会社名古屋証券取引所

証券コード

5411

経営体制（平成23年6月22日現在）

取締役

代表取締役社長	馬田　一
代表取締役	林田英治
代表取締役	石川良雄
取締役	岸本純幸
取締役	芦田昭充
取締役	前田正史

※取締役芦田昭充および前田正史の両氏は社外取締役であります。

監査役

監査役（常勤）	山﨑敏邦
監査役（常勤）	秋田邦生
監査役	伊丹敬之
監査役	杉山清次

※監査役伊丹敬之および杉山清次の両氏は社外監査役であります。

執行役員

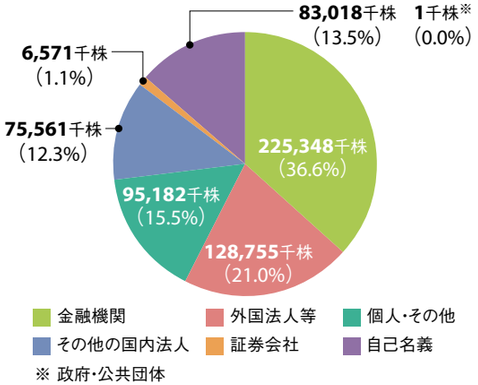
社長	馬田　一	CEO（最高経営責任者）
副社長	石川良雄	総務部、企画部、財務・IR部、経理部の統括
専務	岡田伸一	企画部、財務・IR部の担当
常務	山村　康	総務部、経理部の担当

株式の状況（平成23年3月31日現在）

株式の現況

●発行可能株式総数	2,298,000,000株
●発行済株式総数	614,438,399株
●株主数	313,404名

所有者別分布状況



大株主

株主名	所有株式数（千株）	出資比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	37,282	7.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	25,826	4.9
日本生命保険相互会社	22,639	4.3
第一生命保険株式会社	15,185	2.9
株式会社みずほコーポレート銀行	14,351	2.7
東京海上日動火災保険株式会社	9,975	1.9
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	9,690	1.8
株式会社損害保険ジャパン	8,419	1.6
明治安田生命保険相互会社	6,663	1.3
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	6,398	1.2

※上記のほか、当社は自己株式83,018千株を保有いたしており、
出資比率の算定においては自己株式を除いております。

■株式事務のご案内

決算期	3月31日
定時株主総会	6月に開催
定時株主総会および剰余金の配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人および特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324
特別口座に関する事務取次所	みずほ信託銀行株式会社全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
公告の方法	電子公告
【アドレス】	http://www.jfe-holdings.co.jp/

IRサイト（株主・投資家の皆様へ）のご案内

本冊子のほかに、
ホームページにて
株主・投資家の
皆様に向けた
詳細情報を
掲載しております。

HPアドレス　http://www.jfe-holdings.co.jp/